

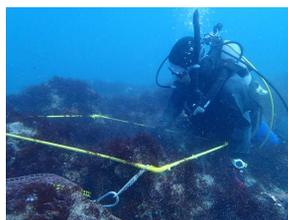
令和7年4月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## テングサ作柄調査が始まりました

令和7年の漁期に向けたテングサ作柄調査が3月7日の白浜地区から始まりました。伊豆地域の12地区の約30地点で潜水調査を実施する予定です。調査では、目視で漁場周辺のテングサの状況を観察するとともに、1㎡の範囲のテングサを採取して着生状況を把握します。調査は4月下旬まで実施する予定です。

既に調査が終了した伊豆東岸の地点では、昨年と比べ、着生量の大幅な減少が見られました。明確な理由はわかりませんが、黒潮大蛇行の継続による高水温と栄養塩不足の継続が考えられます。また、漁場にはカニノテ類が広く着生し、テングサ漁場を覆っていました。

令和7年のテングサ作柄予測は5月中旬頃にお知らせする予定です。



←テングサ漁場での  
採り調査の様子



↑豊富なテングサ漁場



↑カニノテ類に覆われた漁場  
(ピンク色がカニノテ類)

## 西伊豆で海業本部会議が開催される

3月11日と12日の2日間、西伊豆町仁科において「第3回静岡県海業推進本部会議」が開催され、県内の漁協や漁業者、市町村、専門家等が参加しました。この会議では、海業の推進を目指した勉強会や情報交換等を行っており、今回は海業先進地と称される西伊豆町の視察を行いました。西伊豆町は漁港エリアに農水産物直売所「はんばた市場」をオープンしたり、漁港を釣り場として開放する「海釣りGO」や、遊漁船で釣った魚を地域通貨に交換できる「ツッテ西伊豆」など数々の事業を展開しており、参加者にとって今回の視察は、今後海業を進めていくうえで大変参考になったと思います。



西伊豆町職員による講演



海釣りGOの視察

## 市民講座で海藻研究について講演

3月18日に下田市教育委員会が開催した水産・海洋学講座（第4回）で会場職員が「伊豆地域の海藻群落回復のための研究」について講演しました。

講演では、伊豆地域の海藻群落が消失する磯焼けの要因と漁業に与える影響について説明し、海藻群落回復のための最新の研究内容を紹介しました。

約30名の聴講者の中には子供の頃から親しんだ豊富な藻場の消失を嘆き、海藻群落の回復を望む声がありました。

講演内容は地元テレビ2局によって放映され、後日、下田市教育委員会生涯学習課のYouTubeチャンネルから公開される予定です。



←講演の様子

4月の予定 ● 潜水調査（テングサ作柄調査ほか） ● ヒラメ放流用種苗受け入れ（10日熱海） ● 水産事業概要説明会（21日県庁）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。